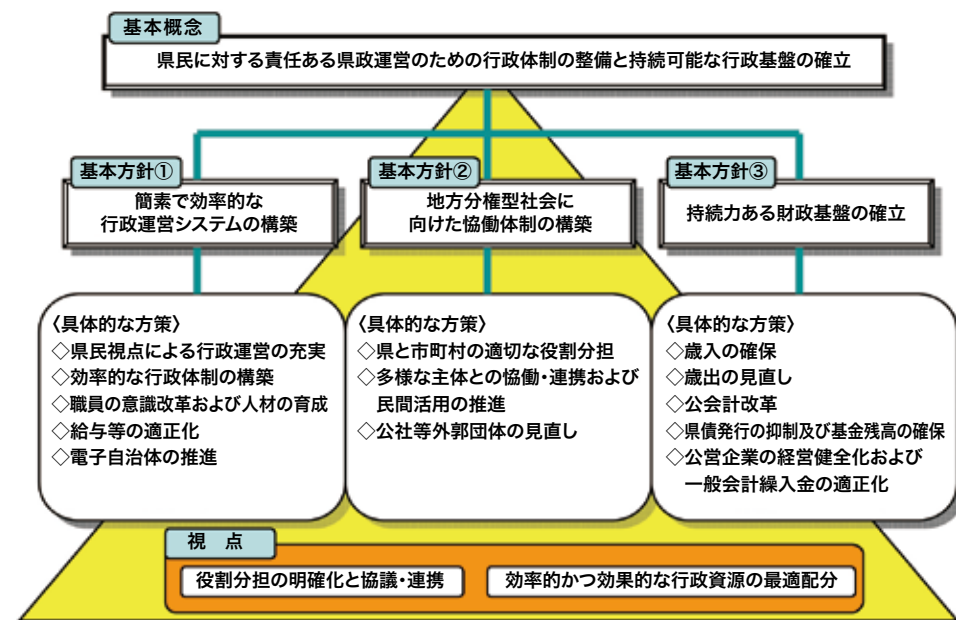




県は、昭和六十年以来、数次にわたり行財政改革に取り組み、簡素で効率的な行政運営に努めてきました。しかし、本県の財政状況は、県税や地方交付税など歳入の大幅な増加が期待できない反面、公債費や社会保障関係経費などの歳出増加により多額の収支不足が生じることが見込まれ、このままでは県民の生活に支障をきたすことが懸念されます。また、少子高齢化の進行、情報化・国際化の急速な進展、環境問題の深刻化などに加え、沖縄振興計画の終期(平成二十三年)度にも迫っています。

このような時代の変革期の中でも、医療や教育、環境、雇用、治安など県民の暮らしに直結する行政サービス

の維持・向上に努めていくべきです。

このように時代の変革期の中でも、医療や教育、環境、雇用、治安など県民の暮らしに直結する行政サービス



第1回沖縄県行政改革懇話会 (H21.6.4)

○ **素案の概要**
 基本理念を「県民に対する責任ある県政運営のための行政体制の整備と持続可能な財政基盤の確立」とし、複雑・多様化する行政需要に的確に応え、県民のための成果を常に追及していく機動的、機能性を重視した組織運営、将来を見据えた効率的な財政運営に努めていきます。

○ **行財政改革の必要性**
 県は、昭和六十年以来、数次にわたり行財政改革に取り組み、簡素で効率的な行政運営に努めてきました。しかし、本県の財政状況は、県税や地方交付税など歳入の大幅な増加が期待できない反面、公債費や社会保障関係経費などの歳出増加により多額の収支不足が生じることが見込まれ、このままでは県民の生活に支障をきたすことが懸念されます。また、少子高齢化の進行、情報化・国際化の急速な進展、環境問題の深刻化などに加え、沖縄振興計画の終期(平成二十三年)度にも迫っています。

○ **行財政改革の視点**
 本格的な分権型社会においては、住民の最も身近な基礎自治体である市町村と県が果たすべき役割・責任を明確にし、協働・連携を図りながら地域の課題を解決していく体制を強化していきます。また、NPOや地域コミュニティ、企業などの民間活力を積極的に活用するとともに、公共サービスを担う多様な主体間で協働・連携して県民に対する質の高いサービスを提供していきます。

○ **効率的かつ効果的な行政資源の最適配分**
 限られた行政資源を最大限に活用するため、職員のサービス意識、コスト意識を徹底させ、不断の取り組みによる事務事業の見直しで無駄を省きます。また、県の発展・飛躍につながる施策や県民のニーズに応える事業を選択し、そこに行政資源を集中させていくこと、また、将来的に負担を先送りしない適正な行政資源の配分で世代間の公平なサービスを提供していきます。

※詳細は、県行政改革推進課ホームページをご覧ください。

お問い合わせ ●県行政改革推進課 TEL.098-866-2155 FAX.098-866-2157

地産地消の推進
 県では、「地産地消」運動を全県的に展開し、県民に新鮮で安全・安心な県産食材の良さを広くPRし、沖縄の伝統的な食文化の普及や食料自給率の向上を図っています。

地産地消とは、「地元で生産されたものを地元で消費すること」を意味し、主に三つの利点があります。

まず一つ目は、生産者と消費者の距離が近くなることで、お互いを意識した情報の交流が図られます。二つ目は、より新鮮で季節にあった旬の味が楽しめる、地元ならではの野菜や果物を食することが出来ます。三つ目は、地元で販売するため、輸送時に生じる二酸化炭素の削減など、エコライフにつながります。

地産地消は、とても大切な取り組みです。でも、難しい事ではありません。まず身近な事から始めてみましょう。

「おきなわ花と食のフェスティバル2010」では、見て、食べて、体験することで地産地消を体感できます。また、県産農林水産物をより身近に感じることで地産地消の推進につながります。

健康的で豊かな生活を楽しむために、ぜひ「おきなわ花と食のフェスティバル2010」にご来場ください。

日時 2月6日(土)・7日(日)午前10時～午後6時
場所 奥武山総合運動公園、武道館



園芸フェア(武道館)
 花き・野菜・果樹品評会
 フラワーデザインコンテスト
 いちおし産地・伝統野菜コーナー
 いけ花・おし花体験教室等

ヤングファーマーズ市場
 野菜苗等の販売

市町村の広場
 ご当地食材(野菜、加工品)や自慢の料理、民芸に関する展示
 試食・販売

アトラクション
 琉神マブヤーショー等



こだわりシェフのクッキングプラザ
 県産食材料理の試食
 体験料理教室

JAコーナー
 ファーマーズマーケットを中心とした県産農産物の試食・販売
 地産地消鍋料理(野菜肉汁)の販売

まーさん市場
 県産牛・豚・鶏・卵の試食・販売

楽旬酒肴
 旬の食材を用いた料理とビール・泡盛のコラボレーション



まちと村の交流体験バスツアー
 海・畑・食の体験バスツアー
 農作物収穫体験、農作物料理体験

海鮮市場
 マグロ刺身づくり体験
 水産加工品の試食・販売

山の市
 木工体験教室、県産きのこ試食・販売
 木灰ソバの限定販売
 県産木材、木工製品、家具等の展示・販売

サーターヤ
 黒糖づくり実演、製品販売・試食

※内容は都合により変更になる場合があります。

お問い合わせ ●県流通政策課 TEL.098-866-2255 FAX.098-868-0700